

作品研究)『黄昏 ～TASOGARE～』 学苑祭における教員の作品展示 2025 ー進化する表現ー

(『TASOGARE』Gakuen Festival Teacher Works Exhibition 2025 - evolving expression -)

阿部 高広

抄 録

2025年11月1日に開催された本学の学苑祭<山短祭 2025>(テーマ「やまたんでアップデートしよっ!」)にて「進化する表現」をコンセプトに作品展示ブース企画し、ウィッグ作品を展示した。「進化する表現」とは、単に技術の進歩や発信するツールの多様化のみではなく、作品を見た方それぞれがさまざまな解釈をし、それを表現することも大事だと考えた。学生たちや見ていただいた来場者に、美容芸術に対する表現方法や解釈の自由を体感してもらうことを目指した。

キーワード: 美容技術 美容芸術 山野美容芸術短期大学 クリエイティブ ウィッグ作品

I. はじめに

2025年11月1日に開催された本学の学苑祭<山短祭 2025>(テーマ「やまたんでアップデートしよっ!」)にて「進化する表現」をコンセプトに作品展示ブースを企画し、ウィッグ作品を展示した。現代はSNSやAIなどの技術やツールが普及してきた。またそれに伴い、一人一人の表現方法や解釈の自由も広がっている。今回はテクノロジーではなく、人の感性の進化にスポットをあてて作品制作を行った。

美容芸術で表現するために、「ヘアカット」「ヘアカラー」「ヘアセット」「メイク」の美容技術を行なうとともに、展示にふさわしい「装飾」も施した。

制作にあたり、学生に美容芸術のもつ無限の可能性を探求して欲しいという願いから、専門性の高い頭部ウィッグは使用せず、本学の授業「カット&カラー」で使用するものと同じカット用ウィッグを使用した。

II. 作品紹介

作品タイトル「黄昏～TASOGARE～」は、夕日からインスピレーションを受け、制作した。

①カット

夕日の叙情的な雰囲気を出すために動き・軽さ・流れを意識して施術を行なった。

全体的なカットはレザーで行い、質感調整にシザーズ、毛量調整にセニングを使用。

トップはセიმレイヤーにカットし、自然な丸みと立体感を出した。アンダーはレイヤーにカットし、軽さと動きをプラスすると共に、三つ襟は長さを残して少しずつフェードアウトしていく流れを出した。

ミドルは全体的にシャープになりすぎない様にグラデーションカットを施し、シルエットのバランスをとった。前髪に関しては、短めにカットし、抜け感を出して柔らかな印象に仕上げた。

②カラー

夕日の鮮やかな色を演出するためにメインのカラー剤には、塩基性カラーを使用、エンドカラーにはアルカリ剤を使用した。作業工程として、アンダーはレッド、ミドルにピンク、トップにイエローを塗布し放置。流す前に、全体をコーミングし、色を混ぜ合わせ、夕日のグラデーションを表現した。全体カラーを終えた後に、エンドカラーとフロントにスライシングを入れデザインカラーを施し、陰影感を出した。

③ヘアセット

ストレートアイロンを使用し、全体的にランダムな曲線の動きをメインに、夕日の持つ儚さを表現した。

スタイリング剤にはマツワックスを使用し、自然な質感でまとめ、作り込まれた雰囲気にならない様に心がけた。

④メイク

夕日からの光をテーマにまとめた。アイシャドウにはオレンジ系・パープル系・ゴールド系を使用して仕上げた。リップカラーも深みのあるレッド系のカラーを仕込むことで、落ち着いた雰囲気にまとめた。

また全体的にアクセントで、夜空に近づいた時に見られる星を表現するために「ラメ」を散りばめた。

⑤装飾

ブラックの柔らかな生地にシルバーが混ざっているものを使用し、夜が近づいているところを表現した。

また、耳にはゴールドのフープをつけることにより、さりげない光を取り入れた。

Abe Takahiro

山野美容芸術短期大学

連絡先:〒192-0396 東京都八王子市鍵水 530

III. 考察

本作品は、表現方法や解釈の自由をテーマに制作した。自然現象からインスピレーションを受けることにより、美容関係者以外にも美容芸術を身近に感じていただきたい。現代社会は成長著しく、タイパ、コスパなど効率を求めがちであるが、芸術を育むためには、結果だけでなく、結果までの経験値も大切だと考える。そのため時には、黄昏（物思いにふけるひと時）を感じ、効率性ではなくゆっくり自分の感性を研ぎ澄ませる時間が必要なことだという思いを作品に込めた。

参考文献

- 1) 富田知子他 「美容と美術の共同プログラム」
山野研究紀要 24号-25号 pp17-24 2016-2017
- 2) 阿部高広 「『ENERGY』学苑祭における教員の作品展示 2023 -Infinite possibilities～美容芸術～」山野研究紀要 Vol.31 pp57-58 2023
- 3) 作品研究) 『GRUNGE』学苑祭における教員の作品展示 2024
山野研究紀要 Vol.32 p. 45-46
- 4) 山野美容芸術短期大学
<https://www.yamano.ac.jp/>



黄昏～TASOGARE～

山野学苑山野美容芸術短期大学 学苑祭 2025年11月1日